

**「リハビリテーション専門医 教育研修単位一覧表」に基づく
2017年度 単位付与項目**

日本リハビリテーション医学会 理事長 久保 俊一

大項目	中項目	項 目	履修単位
領域 (iii) (原則 1時間 1単位) リハビ リテー ション 科		日本リハビリテーション医学会学術集会教育研修講演	1単位
		日本リハビリテーション医学会学術集会で指定するセッション (リハビリテーション科領域講習特別プログラム)	1-2単位
		日本リハビリテーション医学会地方会が指定する講演	1単位
		日本リハビリテーション医学会が主催または後援する研修会 【注】：リハビリテーション関連研修会は5年で12単位までのみ認められます。 病態別実践リハビリテーション医学研修会、義肢装具等適合判定医師研修会、 臨床筋電図・電気診断学入門講習会、脊損尿路管理研修会、 小児のリハビリテーション実習研修会、福祉・地域リハビリテーション実習研修会、 「動作解析と運動学実習」実習研修会、義手・義足適合判定医師研修会アドバンス・コース 職業リハビリテーション研修会、嚥下障害実習研修会 リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会、回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会【アドバンスコース】 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会	4単位
		その他国内における集会で日本リハビリテーション医学会 または日本リハビリテーション医学会地方会が指定する講演	1単位
学術業績・診療以外の活動実績に算定できる単位	学会参加の単位	日本リハビリテーション医学会学術集会 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会(2017年岡山) 第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会(2017年大阪)	3単位
		日本リハビリテーション医学会地方会学術集会 ※随時。開催日時については学会誌・ホームページをご参照下さい。	2単位
		日本医学会総会	3単位
		国内におけるその他の集会 日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本神経学会、日本義肢装具学会、 日本臨床神経生理学会、日本脊髄障害医学会、日本老年医学会、日本脳性麻痺研究会、 日本脳卒中学会、日本脳神経外科学会、日本末梢神経学会、 日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本高次脳機能障害学会、 日本脳性麻痺の外科研究会、日本小児神経学会、日本認知症学会、日本心臓リハビリテーション学会、 日本骨代謝学会、日本腎臓リハビリテーション学会、 日本ニューロリハビリテーション学会、日本ボツリヌス治療学会、日本運動療法学会 ※全22学会 開催日時についてはホームページをご参照下さい。	1単位
		日本リハビリテーション医学会が認める国際学会 ISPRM(2017年アルゼンチン)	2単位
	学会発表等の単位	【学術発表】 (日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション医学会地方会を含む) (一般演題、シンポジウムなどを含む)国際学会(別記(1))におけるリハビリテーション医学に関する発表	
		筆頭	1単位
		最も貢献度の高い共同発表者1名	1単位
		座長	1単位
		【学会誌・著書等における発表】 学会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」(以下「リハビリテーション医学」) 英文誌「Progress in Rehabilitation Medicine」(以下「PRM」) 掲載の原著、短報、症例報告、総説等の筆頭著者	2単位
		同 共著者	1単位
		「リハビリテーション医学」「PRM」以外のリハビリテーション関連雑誌の筆頭著者 (全9誌) American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation、 Archives of Physical Medicine and Rehabilitation、 Journal of Rehabilitation Medicine, Disability and Rehabilitation、 Physical Medicine & Rehabilitation, Clinical Rehabilitation(註1)、 International Journal of Rehabilitation Research、 European Journal of Physical and Rehabilitation Medicine、 Journal of Rehabilitation Research and Development	2単位
		同 共著者	1単位
		その他、リハビリテーション科専門医委員会が指定するピアレビューのある学術雑誌 (商業誌を除く)におけるリハビリテーション科関連論文の筆頭著者	2単位
	同 共著者	1単位	
その他	学会誌「リハビリテーション医学」「PRM」の査読	1単位	

別記(1)
The International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM)
Asia-Oceanian Conference of Physical and Rehabilitation Medicine (AOCPRM)
The American Academy of Physical Medicine and Rehabilitation (AAPM&R)
The Association of Academic Physiatrists (AAP)

(註1) 洋雑誌

平成28年12月

会 員 各 位

教育講演(リハ科領域講習)の新専門医制度への対応について

公益社団法人日本リハビリテーション医学会
専門医制度委員会
教育委員会

新専門医制度に向けて、今後全ての教育研修講演について新専門医制度に対応した形に改めてまいります。現在の生涯教育点数規定をより簡素化し、領域講習をより受講しやすくします。また教育講演(リハ科領域講習)の審査は、専門医制度委員会において一つの組織で行うことが適切との判断から、教育委員会にて行うこととします。

改訂内容

1. 単位付与の認定は個々の教育講演(リハ科領域講習)に対して行い、開催される会には
扱らないこととする。
2-f(地方で定期的に行われる研究会)と2-g(地方会が認める講演)の区別は無くすることとする。但し、1つの研究会あるいは研究会で取得可能な単位については上限を設けることとする。
単位申請を行う教育講演数に上限は設けない。また、開催される会には扱らないこととする。
2. 教育講演(リハ科領域講習)の審査については全て本医学会教育委員会にて審査する。
地方会教育委員会での審査は廃止とする。
3. 教育講演(リハ科領域講習)は、講演時間60分で1講師、1講演を原則とする。尚、特例として、同じ主題で60分を2講師で行う(30分×2)ことについては、教育委員会での審議を経て認めることがある。

上記の改訂については2017年1月からの教育講演(リハ科領域講習)から実施とする。

4. 新専門医制度による「リハ科専門医資格更新算定項目」に基づくiii)リハ科領域講習及びiv)学術業績・診療以外の活動実績の2017年度単位付与については別表のとおりとする。但し、適用は2017年4月からとする。

以上

別表1.

1. 日本リハ医学会学術集会

	1日で取得可能な単位数	会期中取得できる単位数
総会(日本リハ医学会学術集会)、秋季学術集会	6単位以内	2日間以上で12単位以内

共通講習とリハ科領域講習を合算し日本リハ医学会学術集会は6単位以内(1日で取得可能な単位数)、また2日間以上開催する学術集会への参加では12単位以内を上限といたします。(こちらに関しましては、2016年第53回学術集会より適用されております。)

2. 日本リハ医学会学術集会以外における教育講演(リハ科領域講習)

リハ科領域講習	会期中取得できる単位数
地方会主催の学術集会や生涯教育研修会における教育講演(リハ科領域講習)	4単位以内
関連学会において日本リハ医学会が認定する講演(旧2-e)	3単位以内
その他国内における集会で日本リハ医学会が認定する講演(旧2-f, 2-g)	2単位以内

地方会主催の学術集会や生涯教育研修会における教育講演(リハ科領域講習)では、リハ科領域講習として会期中に4単位以内を上限といたします。関連学会(旧2-e)は3単位以内を上限といたします。上記以外の研究会など(旧2-f研究会, 旧2-g)では、2単位以内を上限といたします。